

各 位

会社名 ダイヤ通商株式会社
 代表者名 代表取締役 阿 部 匡
 (JASDAQ・コード:7462)
 問合せ先 取締役管理部長 菊池 新治
 電話 03-5977-1561

平成31年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月15日に公表しました第2四半期(累計)と通期業績予想に、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

第2四半期(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,616	21	18	1	2.57
今回発表予想(B)	1,628	31	27	74	103.86
増減額(B-A)	11	9	9	73	
増減率(%)	0.7	45.3	55.0	—	
前期実績(平成30年3月期 第2四半期)	1,506	18	15	6	8.56

通期(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,200	30	24	15	21.51
今回発表予想(B)	3,211	39	34	696	966.73
増減額(B-A)	11	9	9	681	
増減率(%)	0.4	32.7	41.0	—	
前期実績(平成30年3月期)	3,129	21	17	2	2.98

2. 業績予想修正の理由

当社の主力事業である石油事業において、売上高は原油価格の上昇に伴い前回発表時と比べて微増でしたが、営業利益が増加したのは燃料油の販売価格において利ぎやが取れたことと、貸倒引当金の戻入益が発生したことによるものです。

当期純利益については、7月2日付でお知らせしました固定資産の譲渡により、3月の物件引渡時に固定資産売却益650百万円の特別利益を計上する予定です。

また7月6日付でお知らせしました当社が加入する複数事業主制度の「東京都石油事業厚生年金基金」の解散による責任準備金相当額の確定により、平成31年3月期第1四半期に、特別利益「厚生年金基金解散損失引当金戻入益」68百万円を計上しております。

さらに店舗等設備の改修等により約43百万円（そのうち第2四半期では約13百万円）の特別損失の発生が見込まれるため、本日平成31年3月期第2四半期（累計）と通期の業績予想の修正をおこなうものです。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上